

本校学生の新型コロナウイルス感染に伴う  
学生・職員に対するPCR検査の結果について

7月25日(土)本校の学生2名が新型コロナウイルス感染検査で陽性であることが確認されましたことを受け、保健所の指導により当該学生と濃厚接触が疑われる学生・教員・非常勤講師・事務職67名に対してPCR検査を実施致しました。(在校する他学年については、感染リスクが低く、また今回の感染者の濃厚接触者と認められたもの以外は、PCR検査は基本的に行っておりません)検査の結果、新たに3名が新型コロナウイルス感染症の「陽性」と判定されましたので報告いたします。

なお、本校での感染者は5名となりましたが、県からは名古屋由来の感染経路とみており「学校内でのクラスター(感染者集団)ではない」とされております。

今回このような複数名における学生が陽性の判定を受け、関係者のみなさま方には大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

学内での対応等について

新たに陽性と判定された学生は、保健所からの指示により入院して療養を行っております。また、陰性と判定された学生は、自宅等に待機をし、3週間の健康観察を行っていきます。

全学生に対しては、8月中旬まで休校措置を取り、自宅待機とし、下記のように指導いたしております。

1 学内で実施していること

- ・マスク着用・登校時と必要時に正しい手洗いの実施
- ・教室の換気を実施(細則は省略)
- ・三密(密集・密接・密閉)の回避・・・特に休憩時間中、昼食時
- ・登校時身体チェック(項目省略)

2 学外・・・自宅での過ごし方

- ・三密(密集・密接・密閉)の回避・・・不要不急の外出禁止  
グループの集い(食事会を含む)の禁止  
アルバイト禁止

今後、保健所等、関係機関との連携を取り、学生や教職員への感染症防止対策を徹底するとともに、必要な最新情報を提供してまいります。

※感染した学生・ご家族等の人権尊重・個人情報保護に関して、十分なご理解とご配慮をお願い申し上げます。